



歯は大切だ！

那覇市医師会 久茂地斑
当山美容形成外科 当山 護

うちの親父が若い頃、口癖のように私に諭していた。

「金欲」「出世欲」「名誉欲」「性欲」欲望は数々あれど「食欲」には勝てないものだ。

だから常に歯は大切にしなければならないぞ！「毎日、歯を磨きなさい」

若い頃云われ続けてはいたが、面倒がり屋の私は虫歯になったら歯医者さんへ行けば良い・・・などノンキに過ごしていた。

50才を過ぎた頃からあっちこっちの歯が痛み出し、大道の高良正勝君の元へ通い出した。彼は同級生だからだ。

然し遠方なので予約を取っても虫歯治療に半日をつぶしてしまう。

うちのカミさんがお隣のタマキ歯科に通い出した。

評判を聞くと良いお医者様らしい。

その後、私もちょくちょく治療をしてもらっていたが・・・。



僕の歯を治療中のタマキ歯科の先生。
「定期的にチェックしに来て下さい」と云われたので「ハイ」と答えた。

うちの親父が年取ってしまった。

診察室の横の部屋でほとんど寝たきりの生活となってしまったが・・・。

ある日突然、親父の入れ歯が入らなくなった。はめようとするとうるさくなるのである。

どうやら親父も若い時から歯を大切にできなかったようであり、似たもの親子である。

親父を歯医者に連れて行く訳にはいかなかった。

やむなくお隣の玉城生夫先生に電話を入れた。最初は歯科衛生士の方が飛んで来てくれ、口腔内の状況を玉城先生に報告した。

その後、先生は沢山の歯科道具を持って来家された。

何回かの型合せ(?)の結果、出来上がった親父の入れ歯は立派だった。

あの巨大な象さんも歯がなくなると象生は終了との事だったが・・・。

うちの親父はこれからきっと長生きをするかも知れない。

僕は耳元でささやいた「歯は大切にしてください、親父殿」

親父を治療中の玉城先生の写真を以下に掲載して頂く。

過日、私の歯の治療に「タマキ歯科」をお訪ねした時、先生に性懲りもなくご質問した幾つかの項目もついでに載せていただく。

歯を大切にしない困った親子のお話と、その治療の為に汗水流して下さったタマキ歯科の皆様にご挨拶しつつ旧年を過ぎ新年が明けた。

< Let's economize on our teeth >

I have a toothache, I went to Tamaki dentist, nearby.

I was feeling throbbing pain when eating since the end of last year, Dr Tamaki is a good friend.

He's kind sometimes and come to my home and takes care of my father's teeth.

Thank you very much for his help.

My tooth has a cavity, too.

The reason will be because I did not take good care of my teeth.

The treatment was not painfull but doctor said to come for a check regularly.

Delicious dishes will be eaten again from tomorrow.

1) 歯科医師会では訪問歯科診療に関し、積極的な取組みがあるのでしょうか？

(回答) 沖縄県歯科医師会では平成18年度より在宅歯科診療研修会を4回コースで開催し、歯科医師・歯科衛生士の訪問歯科診療についての研鑽に協力しています。

今年度は地域医療再生事業において、在宅歯科支援事業を開催しています。

中南部・北部・宮古・八重山地区の4ヵ所において研修事業を開催しております。

また在宅歯科治療器材整備事業でポータブルユニットやポータブルレントゲンを購入し、各地区において貸与出来る環境整備を行っています。

患者さんと医療機関を結ぶシステムとして在宅歯科支援センターの開設に向けて準備をしています。



我が家に来て下さり、石膏(?)で型をとって下さるスタッフと玉城先生。
親父の顔も「?」である。



型をはめて「石膏が固まる迄動かないで下さい」
親父はすぐ動こうとする。
何回もやり直しをした。「あ〜あ〜あ〜」親父はうなった。

2) 訪問歯科診療に関し、難しい点など特にありましたらお伺いさせて下さい。

(回答) 1. 医療機関として問題点

①診療所の80%以上が歯科医師1人で運営されている為、訪問診療に出て行くにはその時間は診療所を閉じなければならない。
(訪問診療に対する時間の調整)

②臨床歯科医師の多くは、在宅医療や要介護高齢者の治療に対する経験が少ない。

③現在の訪問歯科診療に対する診療報酬体系が十分位置づけされていない。

(診療に対する評価は勿論であるが、特に移動に対する時間の問題や診療前後の準備時間等診療以外の時間に評価がない)



最終段階である。
玉城先生「入れ歯の具合はどうか?どこか痛くはありませんか?」
親父「うん」とうなづく。



あれから6ヵ月、入れ歯は快調であり、食欲もすすむ。親父さん人生は最後に「食欲ですネ」親父は「当たり前だ」と答えた。

2. 受入側の問題点

- ①歯科治療に対して割と安易に考えている点がある。(すぐ抜歯が出来る。すぐ入れ歯ができる等)
- ②現場における難しさでは診療所の設備と大きな違いがある為、満足のいく治療が出来ない。(室内の照度やスペースの問題、器材の問題)
- ③他職種との連携する事の難しさ。(緊急時や全身的な疾患を抱えている為に観血処置などに対する後方支援との連携)
- ④介護保険か健康保険かの事務手続きの煩雑さ等が挙げられます。

3) 現代は高齢化社会になっており、各家庭や施設でも歯科の悩みについて困っている方々も多いと思いますが、患者さん方からお願いするとすれば歯科医師の皆様側へどのような連絡方法がありますか。夜間の歯痛など動けない方々に対する対策等についても合せお教え下さい。

(回答) 本来なら一番先に考えられる事はその患者さんの口の中を一番よく知っている先生、すなわち以前通っていた、かかりつけ歯科医院の先生にご相談するのが一番望ましいと考えます。夜間は診療している歯科医院はありませんので緊急であれば救急病院に連絡して下さい。しかしながら訪問診療はありません。

記載したように地域医療再生事業の一貫で沖縄県歯科医師会では平成22年度に在宅歯科支援センターを開設いたします。

支援センターの役割としては、患者さん等からの問い合わせにより、16km以内の在宅支援歯科協力医を検索し、それにより在宅歯科協力医を紹介できるシステムになります。

又、後方支援としての病院歯科との連携を図ることで、リスクの高い患者さんに対する観血処置などを行えるよう調整を行っています。

他に訪問看護協会や介護支援(ケアマネジャー)等との連絡会を開催する事により、

より医療連携が行えるよう積極的に行う予定です。

4) その他、訪問歯科診療について(医師や一般家庭向け)助言あるお言葉を頂けたらと思います。

(回答) 患者さんの元に出向いて、何が必要なかを確認する事が大事です。

在宅の患者さんにとって、まずは口が開けられるかが問題です。開口できないのであれば最初に行うのは咀嚼筋を始めとする、表情筋の緩和と口腔ケアによる口腔内の環境整備から始めていく。

それであればポータブルユニットでなくても、携帯用のエンジンがあればなんとかなるかと思います。

開口でき意識の疎通ができてから歯科治療を行っても遅くはないと考えています。

- ①はじめに、通院が困難な理由をお知らせ下さい。
- ②要介護認定の区分をお知らせ下さい。ケアマネージャーさんとの連携が必要になるので連絡先をお教え下さい。
- ③どのような保険証を持っているかお知らせ下さい。
- ④キー・パーソンは誰であるか教えて下さい。
- ⑤どこまで治療したら良いかお考え下さい。

まだまだ、沢山あるかと思いますが。以上まとめました。

質問者：當山護、回答して下さいなのは玉城生夫先生です。

本原稿を受領したのは當山堅次先生がお元気な1月中旬ですが、2月8日未明、先生はご逝去されました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

(広報委員一同)